

# 多機能を備えた子ども家庭支援センターには

嘉倉 治



## 子育て支援環境検討委員会を設置し取り組む

答

質 保育園、幼稚園への支援拡充が必要と考えるが、待機児の解消等、今後の基本的方策は。

町長 待機児童解消については、受け入れ体制の整備、園舎建て替

え、定員の弾力化に努めたい。

質 子どもを取り巻く環境は社会情勢の変化により厳しさを増しています。社会全体で支える「子ども家庭支援センター」を多機能を備えたワンストップサービス化したものにするべきでは。

課長 今後は地域全体で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業、児童の一時保護、児童福祉施設へ一時的に預ける子育て短期支援事業の実施を目指す。また、幼児

家庭全戸訪問、「こんにちは赤ちゃん事業」を保健センターと連携

して実施する計画である。ご指摘のワンストップサービス化、総合窓口も検討対象と考える。

質 将来的には、幼児教育の無償化を目指すべきではないか。

町長 国の有識者懇談会が無償化を提言しており、検討課題として

他の質問

・分権型の教育改革を

